

令和3年度

モアシヨロ原野螺湾足寄停車場線
モアシヨロ原野地区の環境影響に関するワークショップ
(第1回)

令和3年11月5日(金)

北海道 十勝総合振興局

1. 事業経過.....P2
2. 令和2年度 第2回WS開催時 質問・意見についてP5
3. 令和3年度 道路事業及び自然環境調査_中間報告...P13
4. オンネット一地区道路環境保全会議について.....P46

1. 事業経過

令和3年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線
モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

1-1.事業経過

年	経緯
H26.11.20	●平成26年9月の御嶽山噴火を受け、文部科学省地震火山部会において、 <u>雌阿寒岳</u> を含む9火山が重点的な観測・研究を行う火山に指定される。
H27.5月	●「雌阿寒岳火山防災計画(平成27年度版)」が策定され、計画の中で当該路線が <u>噴火時の避難路として位置づけられる。</u>
H27.7.28	●雌阿寒岳の火山性地震増加に伴い、噴火警戒レベルが1(平常)から2(火口周辺規制)に上げられる。 ※H27.11.13に噴火警戒レベル1に引下げ
H27.12.22	●環境省中央環境審議会自然環境部会自然公園等小委員会(第31回)において、阿寒国立公園事業の変更について答申がなされ、同公園区域内の <u>町道雌阿寒オンネト一線の有効幅員変更(3.5m→5.5m)</u> が認められる。 ●自然環境調査開始
H28.3月	●町道雌阿寒オンネト一線が <u>道道に昇格</u> となり、道道モアショロ原野螺湾足寄停車場線の一部となる
H28.6月	●第一回懇談会が開催される。
H29.11月	●第一回ワークショップが開催される。
H30.1月	●平成29年度公共事業(大規模等)事前評価地区に登録
H30.6月	●「平成29年度政策評価(公共事業評価)」の評価結果「要望を行うことは妥当」
H30.11月	●雌阿寒岳の火山性地震増加に伴い、噴火警戒レベルが1(平常)から2(火口周辺規制)に上げられる。 ※H30.12.21に噴火警戒レベル1に引下げ

令和3年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線 モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

1-2. 自然環境調査及び懇談会・WS開催経過

年度	内容	備考
H27	自然環境調査	動植物調査、地表地質踏査、既存資料調査
H28	第1回懇談会(6/17)	H29調査計画説明、現地視察
	自然環境調査(6月～2月)	哺乳類、爬虫類・両生類、昆虫類、魚介類、鳥類、景観
	第2回懇談会(3/17)	H28調査結果、H29調査計画説明
H29	自然環境調査(5月～10月)	哺乳類、両生類、鳥類、植物、地質
	第1回懇談会(8/8)	H29調査結果、保全対策案説明、現地視察
	第1回WS(11/1)	H28、H29調査結果、保全対策案説明、現地視察
	第2回WS(3/30)	H29調査結果、道路設計説明、H30調査計画及び事業計画説明
H30	自然環境調査(4月～9月)	鳥類、植物
	現地視察(6/29)	植物方形区位置、ヒカリゴケ生育地、重要種移植検討対象種、外来種調査説明
	第1回WS(11/21)	H30調査結果、道路設計説明
	第2回WS(3/11)	H30調査結果・計画、前回WS質問意見等
R1	現地視察(9/10)	外来植物生育状況確認
	第1回WS(11/29)	R1調査結果、道路設計、R2調査計画、前回WS質問意見等
	第2回WS(3/16※)	R2事業・調査計画説明、前回WS質問意見等 ※新型コロナウイルス対応で資料を送付。
R2	第1回WS(10/6)	R2調査結果(中間報告)、R2事業計画説明、前回WS質問意見等
	現地視察(11/5)	駆除対象外来種生育状況確認
	第2回WS(3/23)	R2調査結果・R3調査計画、R3事業計画

2. 令和2年度 第2回WS開催時 質問・意見について

令和3年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線
モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

2. 令和2年度 第2回WSの質問・意見について

番号	意見等	対応及び回答など	P
1	防災事業(シェルター論議を含む)を含めた総合的な進め方が必要	足寄町及び防災協との連携及び防災協論議に関する情報提供。	P7
2	クサヨシの導入について	① 植物調査結果(種子賦存量調査)を経て、導入候補種種に含めることを第1回WSで提案し、2回WS前に岡村名誉教授に説明。 ② 第2回WSで岡村氏の意見を紹介し、WSとして導入種に含めることを検討。	P8
3	住民協働による環境保全活動	オンネット一道路保全会議準備会を実施済。	P9
4	地すべり対応	過去のWS資料で説明。 ※H28第1回懇談会(6/17)・H29第1回WS(11/1)資料	P10
5	アメリカオニアザミ駆除	令和3年度の駆除試験結果から現地状況を確認の上、令和4年度に駆除について提案。	P11
6	小型フクロウ類(キンメフクロウ)について	前回夜間調査(2017年)から5年後の2022年以降に調査実施を検討する。	資料なし

2-1.防災事業(シェルター論議を含む)を含めた総合的な進め方が必要

【令和2年度第2回WSにおける意見】

- ① これからの道路調査や工事、道路完成後の町民の防災の動きを含めて総合的な進め方が必要。
- ② 十勝岳の望岳台に作られたようなシェルターは、雌阿寒岳火山防災協議会でどのように検討されているか、また道路と共に検討していかなければならないのではないのか。



【意見に対する対応】

- ① ② 今回の意見を含め、雌阿寒岳火山防災協議会担当部署である十勝総合振興局担当課や足寄町へ情報提供を行っていき、防災協議会における避難路に関する協議などについては、ワークショップで報告。



十勝岳望岳台シェルター

2-2.クサヨシの導入について

【令和2年度第2回WSにおける意見】

候補種の中で外来種の侵入を抑制し、いち早く法面の緑化を実現するための対象種を考えると、現地にあり対応するものとしてはクサヨシくらいしかないと思う。ススキ、オギ類のイネ科があると良いと思うが、この地点で得られることは難しいとすれば、クサヨシの活用というのは念頭に置いた方が良い。



【意見に対する対応】

今年度の植物調査で実施している種子賦存量調査結果をもとに、岡村名誉教授の意見も踏まえ検討し、次回(第2回)のワークショップで提案。

2-3.住民協働による環境保全活動について

【令和2年度第2回WSにおける意見】

オンネトー周辺地域と連携を取りながら進めていくことが大事ではないか。



次第8の「オンネトー地区道路環境保全会議」についての中で報告。

令和3年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線 モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

2-4.地すべり対応について

【令和2年度第2回WSにおける意見】
計画道路周辺で大規模な地滑りが想定されているか。

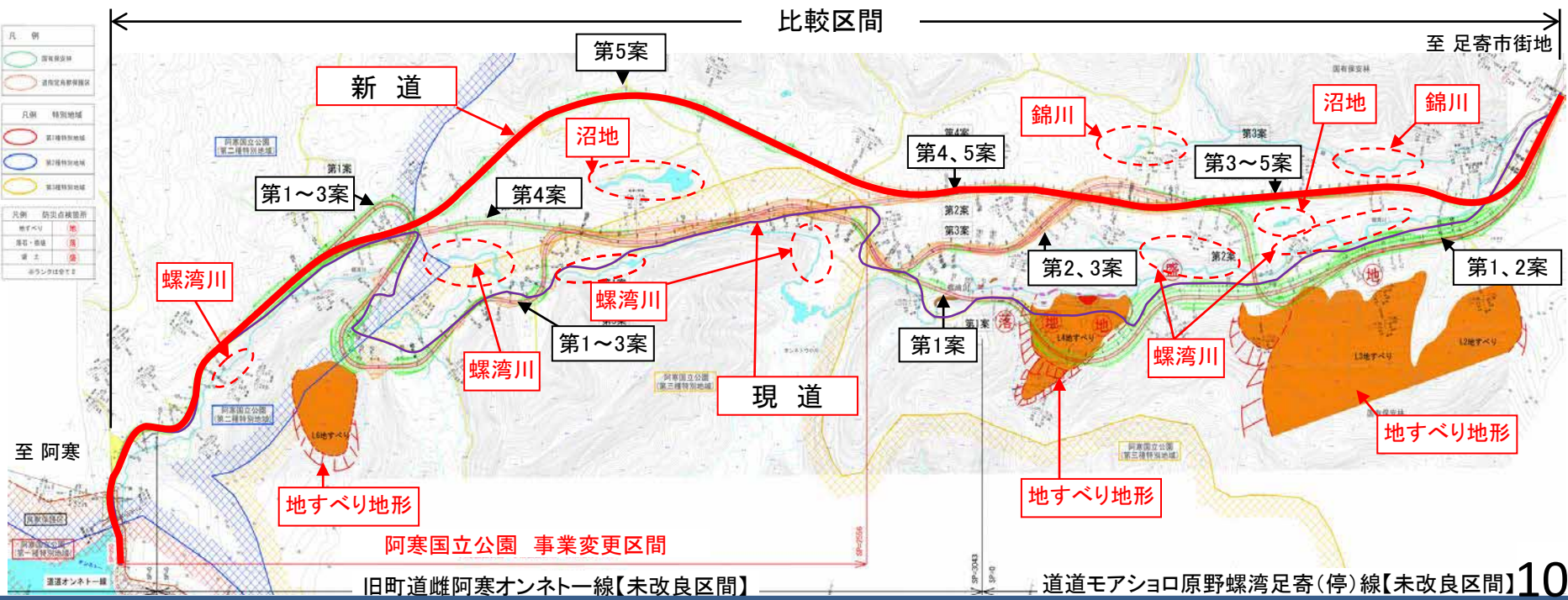
平成28年6月第1回懇談会
平成29年11月第1回WS資料

望ましい通過位置の選定

・1/2500精度の空測平面図と文献資料等による情報(コントロールポイント)から、当該地域に望ましい通過位置を検討。

CP

- ①通過を極力さける又は通過を最小とする(地すべり地形、沼地、河川、国立公園等)
- ②大規模な切土・盛土を避ける
- ③極力大きな平面曲線半径、緩やかな縦断勾配を採用する



2-5.アメリカオニアザミについて

【令和2年度第2回WSにおける意見】

・開花した後に根元から切ってしまうと再生はしてこない。再生する確率はかなり低くなるということが解っている。

その後、刈り取ったものを持ち去って焼却処分する。あとは、初期の侵入を抑えるために他の植物をいち早く導入する。この2点がポイントだと思います。

・アメリカオニアザミについては全身が強烈的な棘で覆われているので、市民参加で処理するのは難しい、事業として何らかの形で対策をとる必要があると思います。

項目	内容	備考
駆除適期	7月下旬～9月下旬	開花前(蕾のみの時期)に刈取った場合、一部の株が再生する可能性有
刈取回数	最低月1回	但し、開花花穂が結実し、種子が地表に落ちて発芽する可能性有
駆除年数	最低2年 (開花花穂を回収した場合)	<刈取1年目> 生育2年目の開花株を刈取 (生育1年目の株は翌年刈取) <刈取2年目> 前年生育1年目の生育株が開花した後刈取 ※開花した花穂を回収しない場合は刈取後に結実した種子から発芽することが想定されるため、衰退するまで延々と駆除が必要になる可能性がある。

R3年アメリカオニアザミ駆除試験結果概要

開花前10株刈取(7/21)



10株中3株再生(9/29時点)

開花中20株刈取(7/27, 8/12)



20株全て枯死(9/29時点)

1個でも開花している株
を刈り取ると枯死する！

しかし！

開花期の7月～9月まで刈取が必要！
しかも、未開花の株の刈取は翌年！

ということは？

さらに！

放置した刈取株から
種子ができ、発芽す
る可能性有！



刈取った種子から発芽した場合、
2年後に開花する可能性有。

1年目の刈取からさらに2年後に、
開花した株を切り取ることになる
可能性有。根絶まで2年毎に延々
と刈取りが必要？

9/29 枯死株と開花中の株が並存！

